

音楽メディア活性化を目指したブルーレイディスク

エイベックス・エンタテインメント株式会社 古沢 賢太郎

ソニー株式会社 照井 和彦

バーニー・グランドマン・マスタリング 前田 康二

はじめに ～音楽ビジネスの落ち込み～

このブルーレイディスクは従来の音楽 CD と映像商品である DVD に加えインターネット経由の ON LINE サービスで様々な楽しみ方も手に入る、新感覚の音楽ディスクメディアとして企画・開発しました。

1982年の登場以来、音楽 CD は沢山のヒット曲にも恵まれたこともあり広く受け入れられ世界規模で音楽産業を牽引してきましたが、日本では1998年をピークに売上が減少に転じています。

携帯電話への着信サービス等にマーケットを奪われているとも言われましたが、直近ではこのサービスにさえも売り上げ減少が続いている様子です。



音楽パッケージの売上げ金額 (日本レコード協会発表資料から)

こんな中 2008年に入ってから本格普及にドライブが掛ったブルーレイディスクに着目。BD-Live 機能を使った購入者への充実した特典サービスが実現できるメディアとして、また、192KHz/24bit までの PCM 音源が収録できる BD の特性を活かして、音楽産業を救う一つのヒントとしてリスナーに受け入れられるかを模索しました。

1. クラウドサービスへの過渡期

近年の話題の一つは音楽ビジネスもクラウドへ移行する過渡期にあるのではないかとということで、将来的には無視できないサービスとして準備を怠りなく進めたいところです。

ネットワーク上のどこかにある音楽や映像などのコンテンツ、アーティスト情報などのリソースがどこにあるかという意識をすることなく、配信などの手段によってリスナーが手に入れられる環境や利用スタイルがクラウドサービスです。手元に音楽ディスクを保管する必要が無くなる

など画期的な出来事になるでしょう。

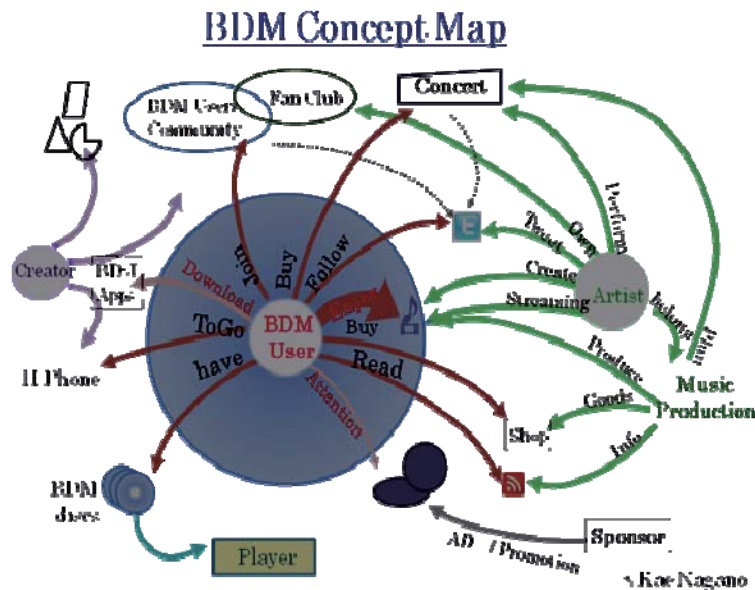
ところが現在の配信サービスなどは音楽 CD の 1/10 程度のデジタルデータ量であり、ハイファイマニアやオーディオファイルを自認する我々がクラウドサービスで満足が得られる様になるにはまだ何年か時間を必要としています。音楽 CD の 44.1KHz/16bit リニア PCM よりも更に高精度（ハイレゾ）な音源を楽しむ為にはデジタルデータの大容量化に対応させられるインフラがもう少し整備されるのを待たなければなりません。

2. BD 音楽パッケージメディアを創る

さてこのブルーレイディスクでは何か特別なものを作ろうということではありません。

- ・ 市中のプレーヤーやレコーダーで動く現行 BD フォーマットに則したディスク
- ・ テレビ画面表示を見なくてもリモコンコマンダーだけで楽曲再生可能なディスク
- ・ カラーキーに割り当てた魅力的な ON LINE サービスが簡単に楽しめるディスク
- ・ 購入者が所有していることで有効なサービスを受け続けられる高付加価値ディスク

このような条件でディスクが制作できないかを国内のオーディオメーカー、レコードメーカーに声を掛け、手を上げてくれたエイベックス、ソニーとバーニー・グランドマン・マスタリングの選抜メンバーによる検討チームが組まれたのは 2011 年の正月でした。



3. BDM 制作スタート

前田さんからこの話を聞いたときに avex アーティストの中でも常に新しい商品形態にチャレンジしてきた浜崎あゆみのシングルあるいはアルバムで商品化するのが一番望ましいと考え、しかも国内でも初の試みですからある意味世界でも最初になれる訳ですから、特別プロジェクトを組み「社内コード：BDM」の制作をスタートしました。

アーティストにふさわしいポジティブで新規性のある商品化を目指し、アルバム、シングルどちらにするか、そのリリース時期も例えばアーティストの年間活動計画など考慮しながら慎重に読まなければなりません。検討した結果は 5 曲入りのミニアルバムという結論でした。

早速収録する5曲分の制作を開始し、演奏録音、歌入れ、Video clipの撮影・編集、メイキングの制作など、全てを並行して進めました。さらに、Net経由での特典映像制作や特性グッズの選定、リリース後の宣伝計画、流通への告知方法なども新しく検討しなければなりません。通常商品のCD、CD+DVDにBDMが加わるのですから通常の2倍くらいのトータル作業量になりました。

スタッフの頑張りもあり無事にCDは2011年8月末リリースにこぎ付けることができましたがBDMはオーサリングやディスク検定日程等必要になるということで、CDとの同時発売を見送り11月に入ってからの発売という設定にしました。

4. Java プラグインで実現する世界

古沢さんをはじめとしたavexスタッフの皆さんや前田さん達との話し合いの中で見えてきた今回のBD仕様をとりまとめると次のようにまとめることができます。

- **音楽が途切れない、音楽を妨げない**

CDのように音楽を心地よく聴くことを最優先に考えメニューや画面遷移などの操作で可能な限り音楽が途切れないよう設計を行う。また、音楽を妨げる効果音（クリック音等）は鳴らさない

- **音楽は通しで聴くことを基本と考える**

1曲目から順番に聴くことを基本としシャッフル等のコントロール機能は持たせない。但しBDプレーヤー側の機能としてシャッフルやプレイリスト作成などの機能を持つことは構わない。

- **繰り返し視聴することを想定したシンプルなデザイン**

音楽を繰り返し楽しむことを想定し画面デザインはシンプルで飽きがこないものとする。

- **テレビ画面オフで音楽だけ聴くことができる**

テレビ画面オフのままでもCDのように音楽を楽しむことができる。

- **CDの操作性を踏襲する**

CDで慣れた再生コントロールは出来るだけ踏襲してユーザの混乱を避ける。

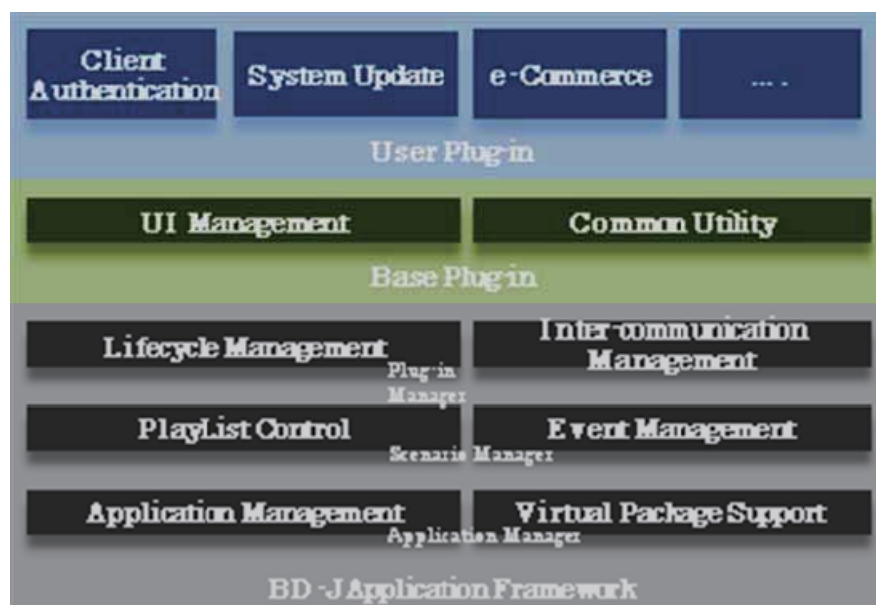
- **BD-Liveの活用**

基本コンテンツはディスク内にありネット接続無しでも楽しめるが「BD-Live」による最新コンテンツダウンロード、グッズ購入機能等を活用してDVDとは異なるユーザーメリットを提供できる。

この仕様を基にBDフォーマットの成り立ちを熟知したソニーメンバーが集まり、無理なくユーザーインターフェースを実現する方法を検討しました。

特に純粋に音楽を聴くための「Music」Modeでの仕様決めが重要で、例えばスタートキーが押されたらどこから再生を開始するのか、その時の画面にはどんな表示が出ているべきか、など、ブルーレイディスクでありながらCDのような振る舞いに見せるため、更に細かく具体的な仕様を作り込んで行きます。

これらはBDフォーマットの基本仕様に対して、Javaプラグインという方法で全ての設計を進めて行きました。



5. ミニアルバム「FIVE」



Popup Menu を呼び出すことで、このディスクの全体構成を知ることができます。

- 「Music」 Mode

音楽 CD に相当する部分です。5 つの楽曲が収録されており、後述のカラーキーで様々な情報を得ることができます。
- 「Movie」 Mode

初回限定など CD+DVD 商品に見られる DVD に相当する部分です。5 つの楽曲全てのビデオクリップとメイキングクリップが HD 画像で収録されています。
- 「ONLINE」

利用しているプレーヤーがインターネットに接続されていることで、BDM 盤 FIVE 購入者限定の各種サービスが受けられます。また、ポータブルオーディオデバイス向けに AC-3 音声も収められています。

6. カラーキーで実現するユーザーインターフェース



「Music Mode」で音楽を再生する際、画面右側にアーティスト写真を配置する仕様は早くから決まっており、残された左半分にはどれだけ沢山の有効な情報を表示させるかを考えました。カラーキーにこのディスクが身近に感じられる情報(現在の状態や各種表示)を織り込んであります。

- 「青」キー
再生時間を数字(00:00)及びバーで表示します。また、一曲リピートや全曲リピートの指示も選択できます。
- 「赤」キー
ブックレットを表示します。印刷物で封入されているブックレット情報を呼び出し画面で確認することができます。
- 「緑」キー
アーティストのTwitterとオフィシャルサイトのRSS情報を受信して表示します。リスナーはアーティストの最新のつぶやきを見ながら音楽鑑賞ができます。
- 「黄」キー
楽曲に同期して歌詞を表示します。

7. ユニーク ID を利用した個人認証と特典

ディスクのBCA領域にPMSN(Pre-Recorded Media Serial Number)というシリアル番号を記録して、正規市販ディスクであることの識別が可能です。BDプレーヤーからインターネット経由により認証サーバーで確認を行い、ディスクを購入したユーザへの特典サービスが提供可能になるのです。

FIVE では avex 社のサーバーと直接通信することで「ONLINE」の中から「特典ストリーミング」「限定商品ショッピング」「ファンクラブ案内」「インフォメーション」を受けられます。

結びに

以上ご紹介しました BDM を実現するためのオーサリングツールも現在ソニーメンバーで構築中です。通常の DVD や BD 商品とほとんど変わらない制作環境が間もなく整いますから、興味を持たれたレコード会社の皆さんは是非ともご期待ください。

BDM は少しでも多くの方々に手にとって欲しいディスクメディアだと考えています。スムーズにマーケットへ受け入れられることを強く願ってやみません。

筆者プロフィール

古沢 賢太郎（ふるさわ けんたろう）

エイベックス・エンタテインメント株式会社第2音楽事業本部 担当部長。

音楽制作畑を歩み、特に新しいパッケージメディアへ積極的に取り組む会社の中にあって DVD オーディオや SA-CD、USB でのリリースも多数企画制作してきた。

現在の所属アーティストは、浜崎あゆみ、BIGBANG、AAA、U-KISS、SKE48、2NE1、moumoon、SOPHIA、DiVA、JUNO、girl next door、SE7EN、SHU-I、リュシウオン、鈴木亜美、前川弘毅、東京女子流、JOKER ほか。

前田 康二（まえだ やすじ）

バーニー・グランドマン・マスタリング 日本支店代表。

1989年バーニー・グランドマン・マスタリング・ハリウッドに入社。

1997年バーニー・グランドマン・マスタリング・東京を設立。

マスタリングエンジニアとして、BUMP OF CHICKEN、COCCO、DOSE、FUNKEY MONKEY BABYS、GLAY、HIATUS、JUJU、KARA、LG YANKEES、NEWS、RADWIMPS、SOPHIA、SOUND HORIZON、コブクロ、スガシカオ、スムルース、平井堅など数多くのアーティストを手がける。

照井 和彦（てるい かずひこ）

ソニー株式会社ホームエンタテインメント開発部門3部 シニアプロジェクトマネジャー。

オーディオ電気設計、商品広報、海外営業を経て SA-CD フォーマット普及活動にも従事する。

この時の経験から BD の優位性を国内外のレコード会社へ働きかけてきた。

JEITA オーディオネットワーク事業委員会副委員長、日本オーディオ協会デジタルシアター委員会公認講師も務める。